

SNS上の言葉は誤解を生みやすい

あなたはA、Bどちらに受け取りますか？

1

Y男さん: やりすぎだよ

Z太さん: ゲームで課金したら1万超えちゃった

A. 冗談まじりの突っ込み

B. 注意された...

2

Y郎さん: もういいよ

Z次さん: さっきは言い過ぎた、ごめん。

A. 気にしてないから、大丈夫

B. お前なんてもうどうでもいい

3

Y子さん: やばいね

Z美さん: この洋服買ったんだけど、どう？

A. とっても素敵

B. すごく変だよ

4

Y美さん: 失敗したのは私のせいだよ

Z子さん: 気にしなくても平気だよ

Wさん: Z子は友達じゃない

A. ありがとう... 私達友達だよ

B. 拒絶された...

SNSでは、相手の顔が見えず声も聞こえないため、自分の真意が伝わりにくいという特徴があります。

つまり、同じ言葉でも人によって受け取り方が違うため、Aのように肯定したり、軽い冗談を言ったりしたつもりでも、相手側にとってはBのように「非難された」、「悪口を言われた」などと違う意味に受け取られてしまい、他人を傷つけてしまう恐れがあります。

SNSだけでコミュニケーションを取ることは、実はとても難しいのです。また、言葉を切り取ることで、印象が変わってしまうこともあります。

送信する前に内容を読み返そう。

例え

A君はあるインタビューでこのように答えました

サッカー部の練習はつらい。だけど、上達していくのが嬉しいし、やりがいがある。

プラスな印象

➔

ところが、掲載されたのはこんな内容でした

サッカー部の練習はつらい。

マイナスな印象に

言葉を切り取ると

このように、情報の表面（動画やニュースのタイトル等）だけを見て判断してしまうと、事実とは違う印象を与えてしまうことにもつながります。

SNS上で相手にメッセージを送るときや投稿するときは、言葉を省略したり、切り取ったりしないこと、そして絵文字や「!」「?」マークを使用する、ポジティブな言葉を選ぶなど、誤解を与えない内容であるかをよく確認してから、慎重に送信、投稿するようにしましょう。